

はぼろバラ園ボランティア活動の様子をご紹介しているボランティア日記。最終回となる今回は越冬に向けた葉塗り（はむしり）作業の様子をご紹介します。この葉塗り作業は越冬に向けた重要な作業の一つで、もし葉をそのままにして越冬させてしまうと病原菌を翌年に持ち越すことになってしまうため、バラにとって良くありません。特に耐病性の弱いモダンローズなどは越冬前に全ての葉を取り去る必要があります。ボランティアのみなさんのおかげで葉塗り作業が順調に進み、越冬に向けた準備が着々と進んでいます。来年もたくさんの花を咲かせて、たくさんの観光客の方に喜んでもらいたいですね！

さて、今年のボランティア活動は10月18日(水)で最後となります。6回に渡り、活動の様子をご紹介してまいりましたが、ボランティアをはじめとした町民のみなさまのご協力により、はぼろバラ園は道北随一のバラ園として、美しいたくさんのバラが訪れるみなさんを楽しませております。現在、園路舗装・縁石整備の工事も行われており、今後、さらに充実する予定です。はぼろバラ園がより魅力的になるよう、みなさんで一緒に育てていきましょう。ボランティア日記をご覧くださいありがとうございます。



## はぼろバラ園 ボランティア日記



葉塗り作業の様子

➡ ボランティアの申込・お問い合わせ 商工観光課観光振興係 ☎ 68-7007 (課直通)

### 特集 羽幌町の環境を守る基本計画



#### 未来の子どもたちにより良い環境を残すために取り組む具体的な行動②

##### 家庭から川や海を汚さない運動

みなさんの家庭から出る様々な排水を、魚がすめるようになるまで薄めるには、どれだけの水の量が必要なのでしょう？水の汚れ具合を示す指標の一つにBODがあります。コイ・フナ等がすめる程度の水質（BOD 5 mg/L）にするためには、浴槽（1杯 200 L）何杯分の水で薄める必要があるかを以下に示します。

■ 醤油・ソースの原液 小さじ2杯(10ml)を台所から流した場合



浴槽1.5杯分(300 L)が必要

■ 天ぷら油 大さじ1杯(15ml)を台所から流した場合



浴槽22.5杯分(4,500 L)が必要

- ・できるだけ捨てないように上手に利用しましょう。
- ・捨てる場合は、ゴミステーション内のポリ容器に移し替えて出してください。

#### 重要

##### 生活雑排水を減らそう！

台所や風呂場などからの排水（生活雑排水）は、公共下水道に接続していれば管を通して終末処理場（浄化センター）で大部分の汚れは取り除かれます。左記の汚れのことを考えると何の処理もせずに近くの河川に流すよりも公共下水道への接続や合併処理浄化槽の設置を急ぐ必要があります。

また、洗剤の使用も考える必要があります。せっけん・合成洗剤に関わらず、使いすぎると微生物は分解しきれなくなります。洗剤を使わずに食器洗いができるアクリル毛糸製のタワシを使うとか、汚れをふき取ってから洗うなど生活雑排水を減らす努力も必要です。

➡ お問い合わせ 町民課環境衛生係 ☎ 68-7003 (課直通)



※「羽幌町の環境を守る基本計画(改訂版)」は役場や町ホームページでいつでもご覧いただけます。